

コピー用紙購入量及びその低減対策

コピー用紙使用量の削減に取り組んでいます。

コピー用紙使用量4%の減少（前年比）

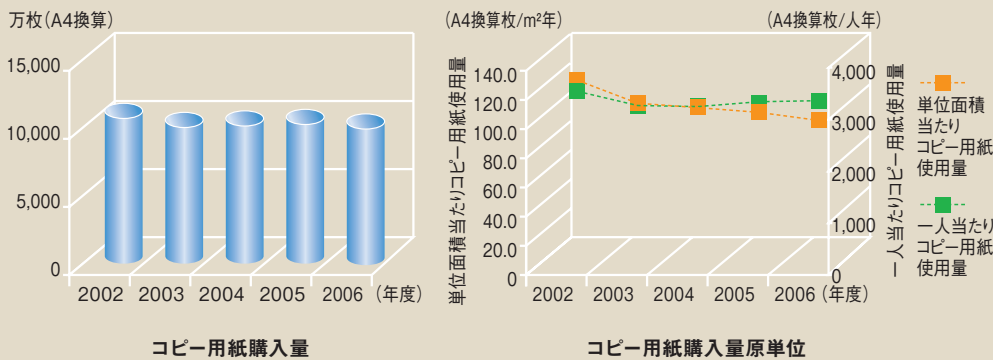


図 26 京都大学のコピー用紙購入量

2006年度、京都大学では、年間約1億枚（A4換算）のコピー用紙を使用しました。近年は横ばいか減少傾向にあります。

構成員一人が年間約3,000枚のコピー用紙を使用している計算になります。

(注) 上記グラフは大学共同購入により購入された量を集計したもので、各研究室が個別に購入した量は含んでいません。

コピー用紙削減活動については、これまでは一部の構成員による自主的な活動のレベルにとどまり、全学的な広がりをもつものとなっていませんでした。

運動を進めるにあたって問題となったのは、コピー用紙を削減することによって、どれくらいの資源や購入費用節減の効果がえられるのかわからず、構成員への動機付けが弱いという点でした。

そこで、削減効果を定量的に示すために、学内むけにコピー用紙削減診断を実施しました。診断は、コピー用紙使用状況のアンケートと現地調査を行いました。診断結果として、削減可能量及び経費削減効果を定量的に示し、削減に向けた改善項目を記載した報告書を関係者に配布しました。また、関係者の意識向上を目的にポスター作成・掲示しました。

また、アンケートでは数多くの改善

意見などをいただいています。今後は、これらの意見も参考にして改善策を提案していきます。

活動を始めて日が浅いため、診断の十分な効果はまだ出ていませんが、このような活動を続けることにより、コピー用紙およそ30%、年間3,000万枚（A4換算）の削減を目指しています。



コピー用紙削減ポスター

グリーン調達について

京都大学では、2006年4月1日に「環境物品等の調達の推進を図るための方針」を、策定・公表し、環境物品等の調達を推進しました。その結果、コピー用紙など全ての項目において、100%の調達を達成することができました。

2007年度以降の調達においては、2006年度の実績を踏まえ、引き続き環境物品等の調達の一層の推進を図り、可能な限り環境への負荷の少ない物品の調達に努めていきます。

参考：「環境物品等の調達について」は、ホームページをご覧ください。
http://www.kyoto-u.ac.jp/notice/05_keiyaku/kbuppin.htm